

「入善町商工会青年部」部報

商工青年

発行日／平成24年11月1日

発行者／入善町商工会青年部

入膳5232-5

第48号



第43回入善ふるさと七夕まつり

ウォーターシューティング

～恐怖の館リターンズ～

(8月5日・6日・7日)

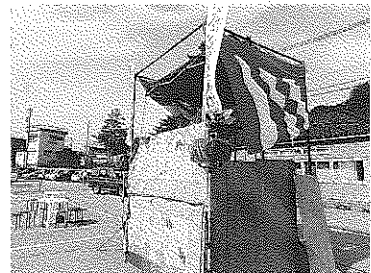
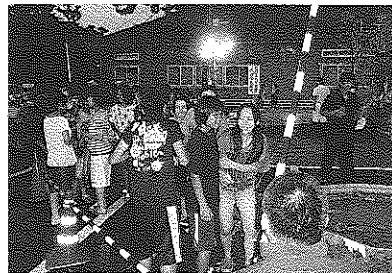
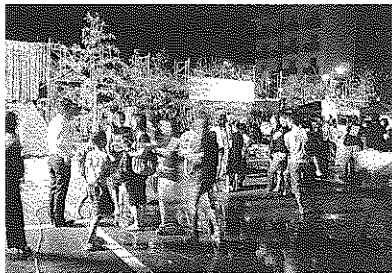
商工会員 募集中!

青年部員 募集中!

- 入善町商工会ホームページ <http://www.shokoren-toyama.or.jp/nyuzen>
- 富山県商工会青年部連合会ブログ <http://www3.shokoren-toyama.or.jp/seinen/>
- 全国商工会青年部連合会Mail Magazine <http://21impulse.jp/>

平成24年度事業報告(上半期)

- 4月25日(水) 青年部通常総会
- 6月25日(月) 呉東ブロック青年部主張発表大会
- 8月5日(日) 第43回入善ふるさと七夕まつり
～7日(火) ウォーターシューティング ～恐怖の館リターンズ～
- 8月28日(火) 富山県青年部主張発表大会
- 9月1日(土) 入善ジャンボコンパ



第43回入善ふるさと七夕まつり ウォーターシューティング ～恐怖の館リターンズ～ 8月5日・6日・7日

実行委員長 浜田 雅 弘

今回青年部イベントの実行委員長として、ウォーターシューティング～恐怖の館リターンズ～を行い、例年通り盛況の内に終わり、青年部の皆様ご協力ありがとうございました。

4月頃に、中瀬部長から「お願いあるんやけどー、七夕委員長やってくれん？」と電話があり、自分も去年行ったウォーターシューティングで、子供たちがめちゃくちゃ楽しそうにしていたのを思い出し、「去年と同じなら良いよ」って即答しました。一応部長からは「少しアレンジしてね」と注文もありましたが、結果これが相当なアレンジとなってしまいました。

近年と同じ内容という事で結構気楽に構えていたのですが、打ち合わせで、最後に滑り台をつけたいという事になり、波乱の予感がしてなりません。

班長選びの方も難航しましたが、なんとかのんちゃん、上原さん、新井さんに引き受けてもらい、去年の経験もふまえてなかなか良い班編成ができ、安心しました。

7月に入っても打ち合わせなどスムーズに進み、滑り台の方も新井さんの班で試作を作ったりと準備も万全でした。みらーれのCM撮影の方も迷監督がすっかり定着した廣川君のアイデアによりすごく良いものができました。

あとはいよいよ設営のための買い出しかな？とっていたら、部長が最近やっていない「バーベキューを復活させたい」と言い出し、バーベキューの準備まですることになり、買い出しの事で頭がいっぱいでした。実はバーベキューの買い出し、準備は今までしたことがなく、何か足りないんじゃないかと不安だったのですが、どうにか無事に終わりほっとしました。

会場設営ですが、初日からうまく準備できるかな？と心配でした。竹取りのほうも、去年はハチに部員が刺されて病院に行くということもあったので、今年は防護服やスプレーを完備していたので、何事もなく終わり一安心しました。近年ずっとお化け屋敷ばかりしているおかげで、骨組みも簡素化され、準備は早いものでした。結果これが後でトラブルを招く事になるのですが…。設営2日目も音次郎さんのカレーライスの差し入れ効果か、人も早くから集まり準備もはかどりました。3日、4日と準備や滑り台を試しビショ濡れになりながら無事恐怖の館も完成して、七夕当日を迎えることができました。

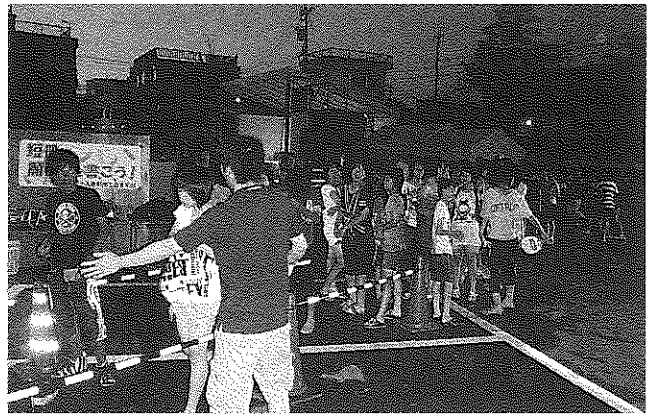
いよいよ8月5日七夕初日。滑り台が増えた事により、昨年よりも極端に人数が減ったらどうしよう？と心配していましたが、初日から大勢の子供が行列をつくり、初日は400人以上のお客さんが来てくれて安心しました。

昨年はお化け役の青年部員が少なく疲労の心配がありましたが、今年は新入部員がたくさん加入し、参加してくれたので、みんなの疲れも去年ほどではなく、これなら3日間もつなと思え頼もしく思えました。

2日、3日目と自分は仕事の都合で少し遅れてしまい、皆を不安にさせてしまい、そして何より3日目の昼にあったどしゃ降りの雨によって天井のシートに水が溜まり、オープンできない状態になってしまいました。最悪の事態となったのに、自分も仕事の現場も遠方なためなにもできなかったのですが、皆のおかげでなんとか営業時間前にオープンすることができました。本当に申し訳ない気持ちと感謝でいっぱいでした。

青年部員のおかげで1,200人以上ものお客さんがきてくれて、結果も満足でき本当にいい経験をさせてもらいました。不安な所も多々ありましたが、青年部員の支えがあり事故もなく無事終わったのだと思え、これからの自分の青年部活動に活かしていきたいです。

皆さん本当にありがとうございました。 再見



子供たちの長い行列が！



呉東ブロック青年部主張発表大会／最優秀賞 6月25日(月) 富山県青年部主張発表大会／優秀賞 8月28日(火)

発表者 松 原 毅^{たけし}

富山県青年部主張発表大会

主催：富山県商工会連合会・富山県商工会青年部連合会



先日、私の仕事机の、引き出しの奥の方から、小さなファイルが出てきました。ホコリをかぶって、色あせた小さなファイルです。懐かしい文字で埋められた原稿用紙が、その中にありました。そしてそこには、こう書かれていたのです…。

『常に脈打つものは、ふるさとへの限りない愛情であります。私達が生まれ、育ち、生きているこの入善町が、この入善町の大地が好きであります。そして、この地域に住む人々が好きであります。そして、入善と言う言葉みんな好きであります。もっ

ともっと真剣にふるさとを学びふるさとを知るということは、即ち愛することであり、愛するが故に行動が生まれるものだ。その為にも、もっともっとふるさと入善を真剣に学び、青年らしい先見性と発想と行動力をもって、今後とも地域づくりの為に精進する決意であります。』

私の机は、亡き父のお下がりです。そして、この原稿も父の残したものです。父は当時、商工会青年部の部長をしていました。これまで、父の原稿には、折に触れ、何度も何度も目を通してきました。しかし、本当の意味でこれを理解するために、私には長い長い時間が掛かったのです。

申し遅れました。私は、入善町中町にて瓦工事業を営んでおります、松原毅と申します。現在、入善町商工会青年部の一員として、日々、勉強させてもらっております。しかし、今ここでこうして、主張発表をさせていただいておりますが、告白しなければならないことがあります。

私、数年前まで、イヤ数ヶ月前まで、商工会青年部にあまり良いイメージを持っていなかったということです。というのも、十歳のときに亡くした父を思い出すからです。家族サービスそっちのけ、青年部の活動に急がしく動き回っていた父。その影が常に常につきまとってきたのです。

入善町商工会青年部の一大イベントである入善七夕まつり。家族みんなで楽しそうに祭りに来ている友達を見てとても寂しく、そして羨ましく、あたかも七夕まつりに父を取られた…？イヤ青年部に父を取られた…？青年部の活動に励む父。それを理解することができない自分…。一緒に祭りに行けないという現実…。幼いながら私はそういう気持ちでいっぱいだったのです。

こんな私が商工会青年部の一員となったのですが、やはり、活動にはほとんど参加しませんでした。恥ずかしい話ですが、会議や定例会の参加を募るFAXにすら目を通さない日々が続きます。なぜ自分が、辛い思い出を抱えながら、青年部の活動をしなければならないのか。ときに、苛立ちさえ感じたりもしました。商店街に生まれた宿命で、青年部に入らざるを得ないこと。そのことが苦痛で。そんな中途半端な気持ちのまま、時間だけが淡々と過ぎていきます。

そんな中で開かれたのが、毎年恒例の入善ラーメンまつり。

出店店舗日本一！

会場面積日本一！！

そんな華々しいスローガンを掲げて一丸となっている青年部員たち。来場者数三万人！！イベントは大成功を収め、部員たちは、こぼれるような笑顔で喜びを分かち合っています。しか

し、私の気持ちは、腹立たしいほど煮え切らないまま。自分だけが蚊帳の外。うわべだけをとりつくろっているそう思いながら、うつむきがちに家に帰ったのです。

ところが、家に着くなり、息子が笑顔で駆け寄ってきて、こう言ってくれたのです。「パパ達のラーメン美味しかったよ！保育所の友達みんな来てたよ！！。楽しかったなあ。また行きたいなあ。またやってみよう！！」

一緒に歩き、一緒に並び、一緒に食べることはできなかった。私も、父と同じように、息子に辛い思いをさせたのではないだろうか…。そう思い、沈んでいた心が、みるみる晴れ渡っていったのです。息子は喜んでくれている。自分たちのイベントを、心から楽しんでくれたんだ。そのとき、私はハッとしました。自分が幼い頃には理解できなかった父の思惑を、幼い我が子に教えられたような気がしたのです。この子供たちの世代が大人になる未来まで、活気溢れる街を残してあげたい。きっとあの頃の父も、そう思っていたのではないのでしょうか？ようやくあの時、精一杯活動していた父の気持ちが今少しずつ、しかし、確かにわかり始めたように思いました。

つい先日、こんな嬉しいことがありました。隣町で仕事をしていたときのことで。年輩のお客様から、『あんた入善なら商工会青年部に入るとるがやろ？入善の商工会青年部ちゃすごい歴史があって、昔から活発やったんやぜ！、見事なまでに団結力もあるし、熱い心を持っている青年部やよね！今の入善の商工会青年部は特に活気があってすごいわ！！』

入善町商工会青年部の部員であることを誇りに思えた瞬間であり同時に自分がやらなければいけないことがわかった瞬間です。伝統あるこの入善町商工会青年部。諸先輩方の血と汗と時には涙の結晶として現在の組織があり、行動があり、規範がある。そして現在の町がある。私自身今一度創始の精神に立ち戻り、微力ながら明るい豊かな地域づくりの為に、そして、子供たちの未来の為に青年らしい先見性と発想と行動力で地域づくりの為に貢献できるように努力していかねばならない！そう思うと同時に、私一人の力では、微力すぎて何もできない。しかし、同じ気持ちを持つ者同士が集まれば、きっと今を、そして未来を明るく変えていける。そのための集まりが、すなわち商工会青年部なのではないのか！

私は思うのです。これまで何世代にも渡ってずっと受け継がれてきた故郷(ふるさと)を愛する心。その心を、今の私たちがしっかり引き継ぎ、これから何世代にも渡って語り継いでいかなければならない。郷土愛という炎を受け継ぐ聖火リレーを世代を超えて、みんなで走り続けていきたい。その炎の明かりで、未来を明るく照らし出していきたいと。

先輩方そして父たちが引き継ぎ、残してくれた入善、そして、いつの日か、今の子供たちに引き継ぐであろう入善。今の子供たちが私の歳に差し掛かる頃、入善は素敵な街だ…と自分の生まれ育った街に誇りを持ってもらえたら、これほど嬉しいことはありません

先輩方・父たちが残してくれた入善。入善町商工会青年部。私は誇りに思います。そして、そんな入善が大好きです！！

ご清聴ありがとうございました。



入善ジャンボコンパ

9月1日(土)

実行委員長

米 沢

はじめ
元

街コンとは？

－街ぐるみで行われる地域振興を目的とした大規模な合コン（仲間と親睦を深めるために行う飲み会など）。イベント開催地区の定められた複数の飲食店を廻る「出会いの場創出」と「地域活性化」が融合した全国各地で盛り上がりを見せるイベントの一つである－

そんなイベントをこの入善町商工会青年部による入善町の活気作りのために企画したのです。

「街コン委員会」となるものを立ち上げ委員長に任命された僕はこの楽しそうな企画に快く引き受けたまでは良かったものの何から始めれば良いのか…。

初の青年部イベント、前例もなく手探りで愉快的委員会メンバー達と企画を探し始めました。

仮面舞踏会ならぬ「仮面で街コン」や受付広場にやぐらを組み DJ ブースとして音楽で盛り上げようと「ヤグラ DJ」など他の街コンに引けをとらぬ様、斬新なアイデアを盛り込んだ「入善ジャンボコンパ」。

目標を大きく掲げ、男性 200 人対女性 200 人！とは言ったものの不安少々…。店舗集めに始まり広告作り、CM 撮影、チケット販売など作業をすすめるうちに少しずつ形が見え始め手応えを感じていったのです。

そして当日、果たして本当に参加者が集まるのだろうか…と不安を感じながらも受付開始。そんな不安も束の間、続々と集まる人！人！人！！。なんと 250 人もの参加者に集まっていただきました。イベントは大盛り上がりを見せ参加者の方々の楽しそうな雰囲気で大変感動したのです。

個人主義、情報社会の中で人々の関わり、出会い、コミュニケーションの場の提供こそがほくら入善町商工会青年部のやるべきことと考えます。

最後にこの場を借りて協力店舗、青年部員をはじめ、全ての関係者の方々の協力あっての大成功を取めたことに感謝を込めてありがとうございました！



受付会場



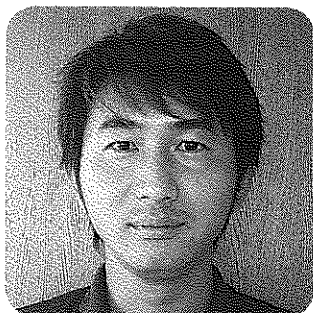
街中を闊歩する参加者たち



気分は仮面舞踏会!?

新入部員の紹介

- <質問内容> ①名前 ②生年月日 ③企業名・自社紹介 ④入部のきっかけ ⑤趣味
⑥長所・短所 ⑦自分を漢字一文字で表すと ⑧今これからの青年部活動への抱負



①高下 峰則

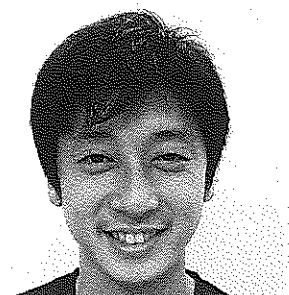
②昭和52年8月5日

③羽黒旬 ハグロレンタル

イベント、式典関係の会場設営、物品のレンタルなどを行っています。入善町のイベントではラーメンまつり、にゅうぜん七夕ステージ、まつりんびっく、みな穂農協農業祭などの設営、レンタルをさせていただいております。

④魚津市から入善町へ引っ越してきて元々入善町青年部員さんとの交流もあり入部に至りました。

- ⑤音楽鑑賞、映画鑑賞 ⑥長所：のんびり屋 短所：めんどくさがり屋 ⑦峰
⑧微力ながら入善町の活性化のお手伝いできればいいなと思っています。



①永井 優

②昭和58年5月7日

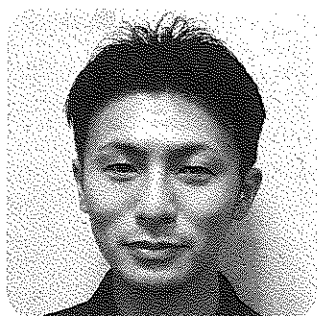
③有限会社 永井建築

④中瀬部長の誘い ⑤車に乗ること

⑥長所：1つの事に対して、最後まで集中して取り組む
短所：悩みすぎる

⑦優

⑧入善町の発展のために精一杯取り組む。



①島瀬 航

②昭和60年7月24日

③シマセ写真館

シマセ写真館は入善駅前昭和10年10月10日に島瀬栄松(初代)が開業。現在は島瀬誠(3代目)と共に島瀬航(4代目)が受け継いでおります。シマセ写真館はお客様の心に残る写真を撮り、明るく活気のある写真館を目指します。

④父親の薦めにより入部 ⑤釣り、写真、サイクリング

⑥長所：明るく、元気、我慢強い 短所：神経質、心配性である

- ⑦風 ⑧青年部の活動を通して、地域に少しでも貢献出来たらと思っています。



①田中 元樹

②昭和61年7月9日

③富山第一銀行

地域に根差しお客様に愛される銀行を目指し日々頑張っています。

④前任の大先輩からの継承です。 ⑤サッカー

⑥長所：粘り強い 短所：だらしない ⑦怠

⑧高瀬さんの様に金融機関の枠を超えて一生懸命青年部を盛り上げたいと思います。



①**四十物 奏**

②昭和53年12月10日

③tariru

大人の女性をよりキレイに可愛くするサロン。訪れた方の髪も心も満ち足りるよう、お一人お一人に合わせた髪型やメニューをご提案させていただきます。

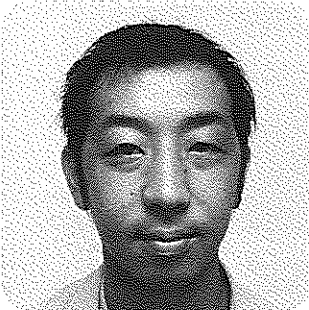
④友人に誘われ面白そうだったので。

⑤旅行・犬・買い物・読書・ものづくり・料理・お酒少々

⑥長所：さばさばしてる 短所：飽きっぽい

⑦丸

⑧入善を人が集まる魅力的な街にしていけるよう、女性目線を生かして少しでも力になればと思います。



①**藤井 直**

②昭和58年2月22日

③有限会社 藤井ガラス建材

主にアルミ建材の販売・施工をしております。

④商工会に入ること、新しい出会いや様々な経験が得られると思った為。

⑥長所：粘り強く物事に当たる 短所：気が弱い

⑦勢

⑧まだまだ未熟で至らないこともあると思いますが、街の活性化に貢献できればと思います。



①**田中 智春**

②昭和57年8月16日

③田中インテリア

④紹介

⑤ショッピング

⑥長所：テキトー 短所：細かい

⑦笑

⑧がんばっていきます。

編
集
後
記

今年度より、商工青年の編集委員長となりました竹内崇裕です。編集作業などまだまだ分からないことばかりですが、商工青年の発刊を通じて、青年部活動に協力していきたいと思っておりますので宜しくお願いします。

今部報には入善ふるさと七夕まつり・青年部主張発表大会・入善ジャンボコンパ・新入部員紹介など多くの記事が皆様の協力のお陰で掲載することが出来ました。初めてということもあり五里霧中の中、執筆を頂いた方々には連絡が度重なる等ご迷惑をおかけし、この場を借りましてお詫び致します。

平成二十四年度上半期は多くの新入部員の方々が加入されますが青年部が活気づいた気がします。また新規事業の入善ジャンボコンパが非常に盛況に行われました。入善ジャンボコンパ終了後でも商店街では沢山の若者で賑わい久しく見なかつた光景が見られました。

今年度下半期にはカレーの完成や年々規模が大きくなっているラーメンまつりが控えています。私も各種イベントに協力し、またより良い商工青年にするため頑張っていくと思います。

(竹内崇裕)